

2022年3月期

第1四半期 決算説明資料



JTP 株式会社

Connect to the Future

JQ 2488

2021年8月12日



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.

# 目次

I. 事業概要	P 3～ 5
II. 2022年3月期 第1四半期決算実績	P 6～14
III. 事業&トピックス	P15～22
IV. 参考資料	P23～32

# I. 事業概要





日本のサード・パーティを

# 世界の JTP に

Connect to the Future



第2の創業へ

2021年4月1日、

日本サード・パーティは、

# JTPへ社名変更を実施しました。



# 売上高事業構成



## デジタル イノベーション

売上高 売上高構成比  
188百万円 12.0%

・新規事業セグメント (AI、RPA、ロボティクス)

## 教育ソリューション

売上高 売上高構成比  
126百万円 8.0%

- ・海外メーカーやサービスベンダの市場参入にともなうエンドユーザ向けの技術トレーニング事業請負
- ・当社独自のICTの最先端技術トレーニングの提供
- ・スキルの棚卸しから不足するスキルを補う教育までのサイクルを総合的にコンサルティングする人財コンサルティングサービス

## ライフサイエンス サービス

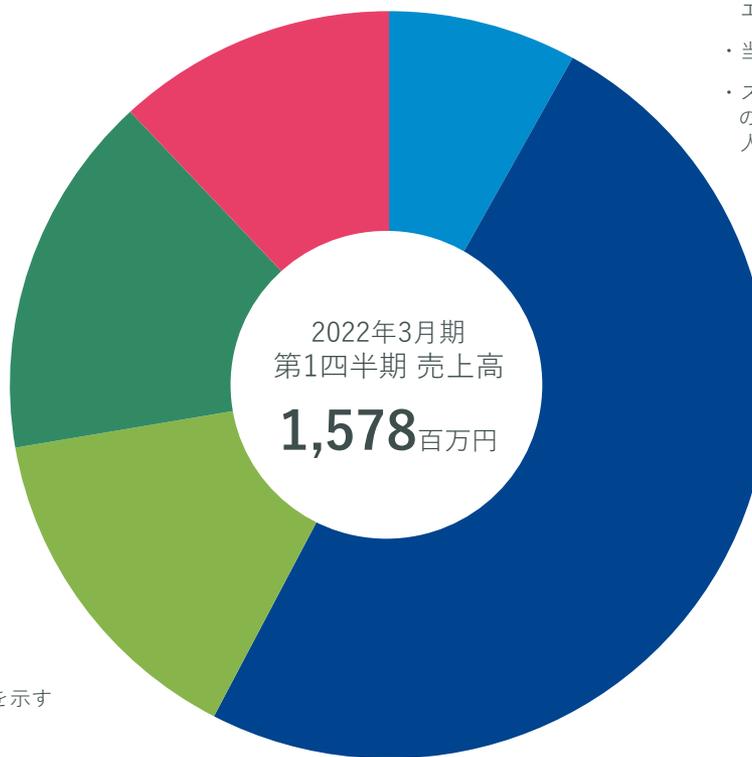
売上高 売上高構成比  
248百万円 15.7%

- ・医療機器、化学分析装置などの据付、点検、校正、修理等の保守サービス

## 西日本 ソリューション

売上高 売上高構成比  
231百万円 14.7%

西日本ソリューションの定義：  
愛知から以西（岐阜・福井を含む）の顧客取引を示す



## ICTソリューション

売上高 売上高構成比  
782百万円 49.6%

- ・ICTシステムの設計・構築・運用・保守サービス
- ・製造支援サービス



## II. 2022年3月期 第1四半期決算実績



# 2022年3月期 第1四半期 決算のポイント



- ✓ 売上高は前年同期比増収で、通期予想比進捗通りの水準
- ✓ 営業利益は、コロナ禍の影響を大きく受けた前年同期比で黒字転換を実現、教育ソリューション事業を除く、各セグメントの利益率も改善
- ✓ 今期「Expand（広げる）」「Deep Dive（掘り下げる）」「Secure（守る）」「Create（創る）」の方針を掲げ、各施策を実行

# 2022年3月期 第1四半期 決算サマリー



➤➤ 売上高、営業利益ともに前年同期比で改善を実現。利益面の進捗についても計画通り

(単位：百万円)	2021年3月期	2022年3月期			
	第1四半期	第1四半期		通期	
	実績	実績	前期比 (%)	業績予想	進捗率 (%)
売上高	1,304	1,578	121.0%	6,500	24.2%
営業利益	△78	28	-	420	6.7%
経常利益	△76	34	-	435	7.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△56	20	-	261	7.7%

# 四半期別売上高・営業利益推移

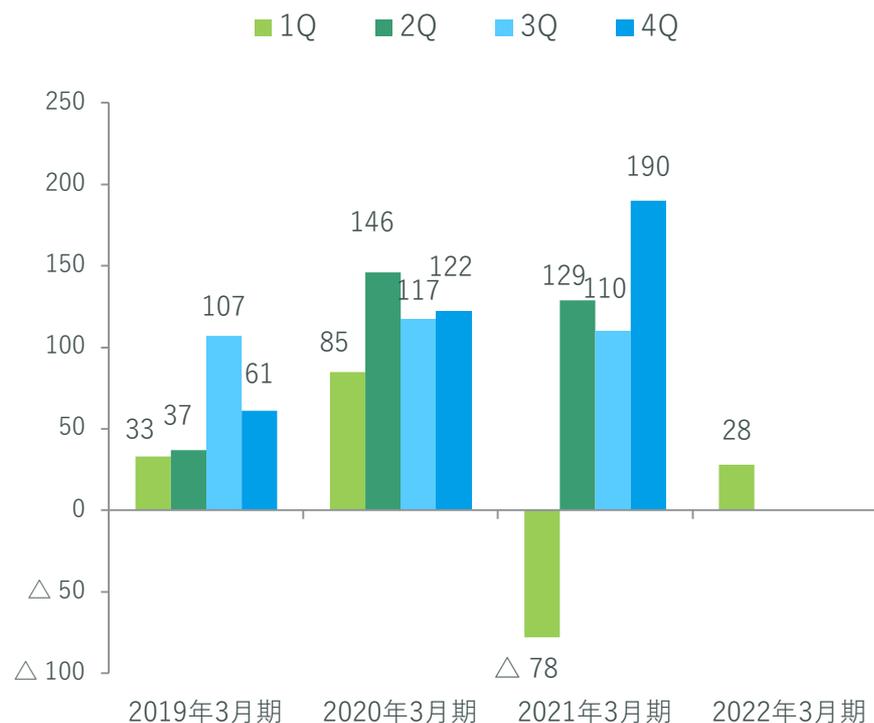


➤➤ 2022年3月期1Qの売上高は、過去3期の1Qの中で最高となった

売上高（百万円）



営業利益（百万円）



# 各事業セグメント売上高



➤➤ 売上高は教育セグメントを除く各セグメントがコロナ禍の影響から回復基調に乗り、全体としては前年同期比増収

	2021年3月期	2022年3月期			
	第1四半期	第1四半期		通期	
	実績	実績	前期比 (%)	業績予想	進捗率 (%)
(単位：百万円)					
教育ソリューション	132	<b>126</b>	96.2%	666	19.0%
ICTソリューション	686	<b>782</b>	114.0%	2,993	26.1%
西日本ソリューション	206	<b>231</b>	111.9%	1,110	20.8%
ライフサイエンスサービス	207	<b>248</b>	119.7%	1,077	23.0%
デジタルイノベーション	71	<b>188</b>	264.2%	644	29.3%
その他	-	-	-	8	-
合計	<b>1,304</b>	<b>1,578</b>	<b>121.0%</b>	<b>6,500</b>	<b>24.2%</b>

# 各事業セグメント営業利益



教育ソリューションはビジネスモデル転換への投資などから前年同期比減益となったものの、その他の各セグメントは収益改善を実現

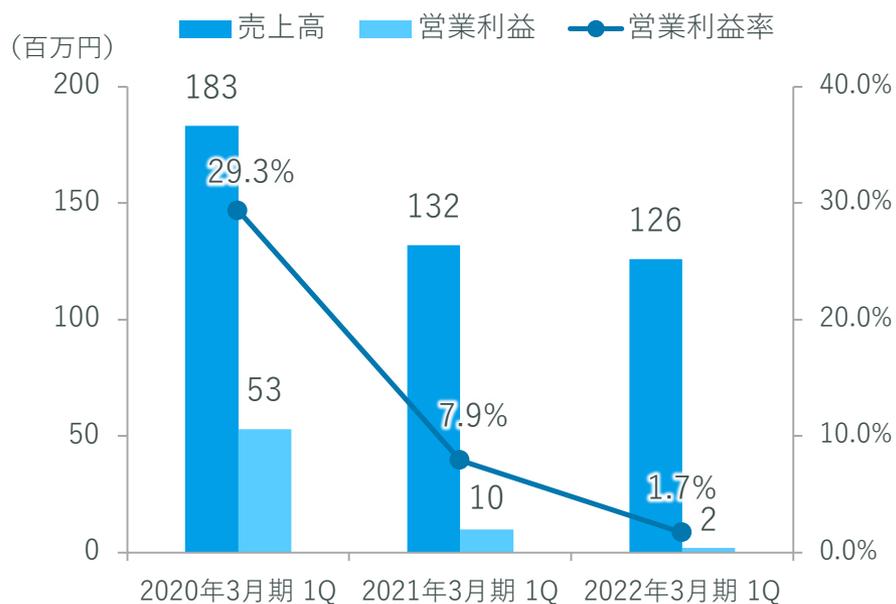
(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期			
	第1四半期	第1四半期		通期	
	実績	実績	前期比 (%)	業績予想	進捗率 (%)
教育ソリューション	10	2	21.3%	174	1.2%
ICTソリューション	72	147	202.3%	585	25.2%
西日本ソリューション	33	42	126.1%	179	23.6%
ライフサイエンスサービス	△6	17	-	116	15.4%
デジタルイノベーション	△28	△4	-	△54	-
その他	△4	△3	-	△19	-
全社	△155	△173	-	△562	-
合計	△78	28	-	420	6.7%

# セグメント別業績推移 (教育ソリューション/ICTソリューション)

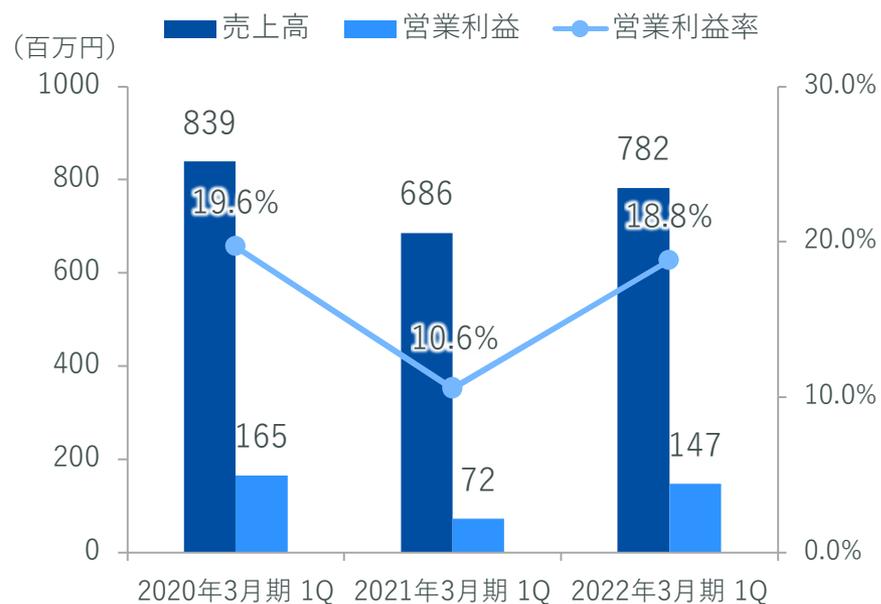
## 教育ソリューション

請負型の集合教育事業の見直しは必須で、  
コンテンツ提供型ビジネスモデル  
転換を急ぐ



## ICTソリューション

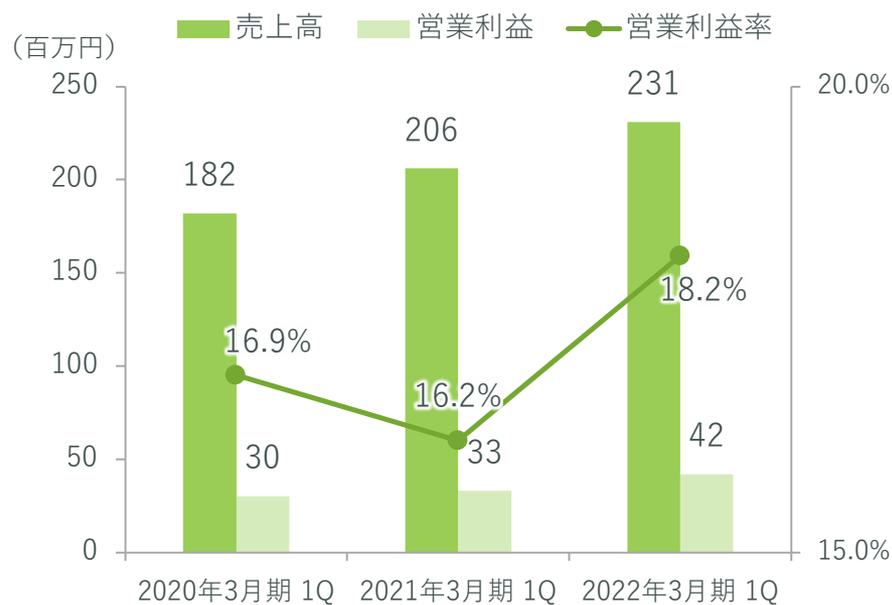
前期は、顧客企業の案件凍結の影響大、  
今期回復傾向にあり、  
エンドユーザ直接契約案件の拡大を図る



# セグメント別業績推移 (西日本ソリューション/ライフサイエンスサービス)

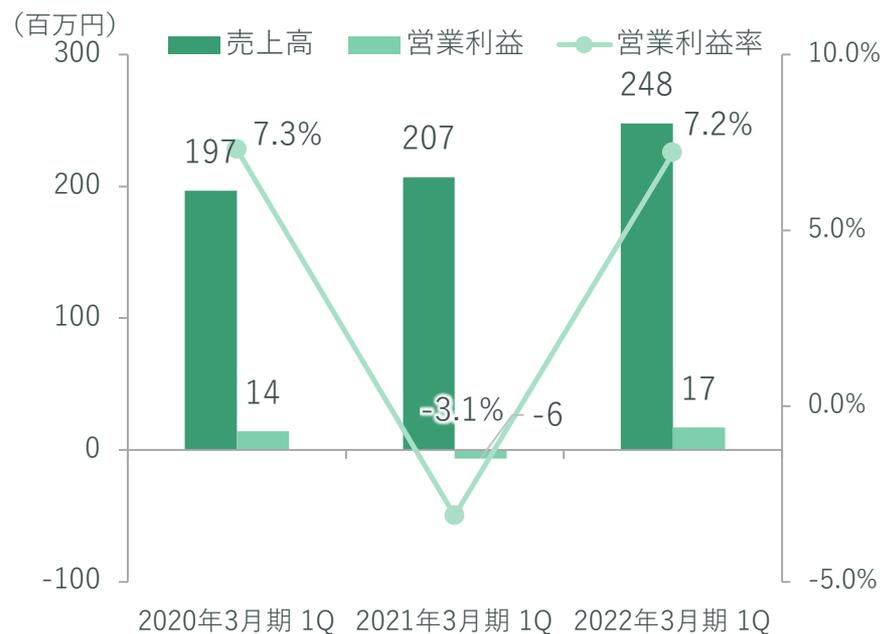
## 西日本ソリューション

前期受注の九州地区金融業向け ICT運用案件が増収に貢献、西日本ライフもエンジニアの稼働率回復、大阪地区のICT運用案件も順調に拡大



## ライフサイエンスサービス

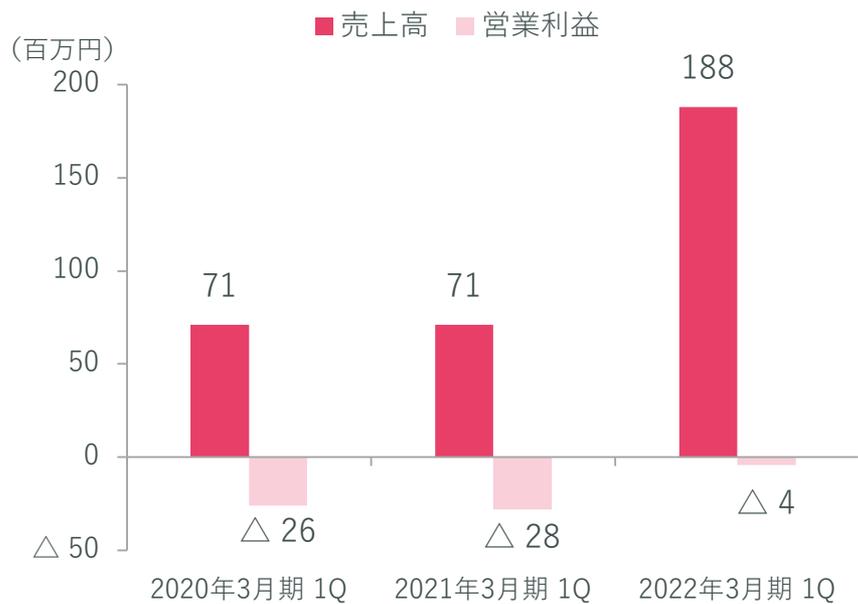
病院、製薬会社向けのフィールドサービスの稼働率回復により増収増益



# セグメント別業績推移 (デジタルイノベーション/その他)

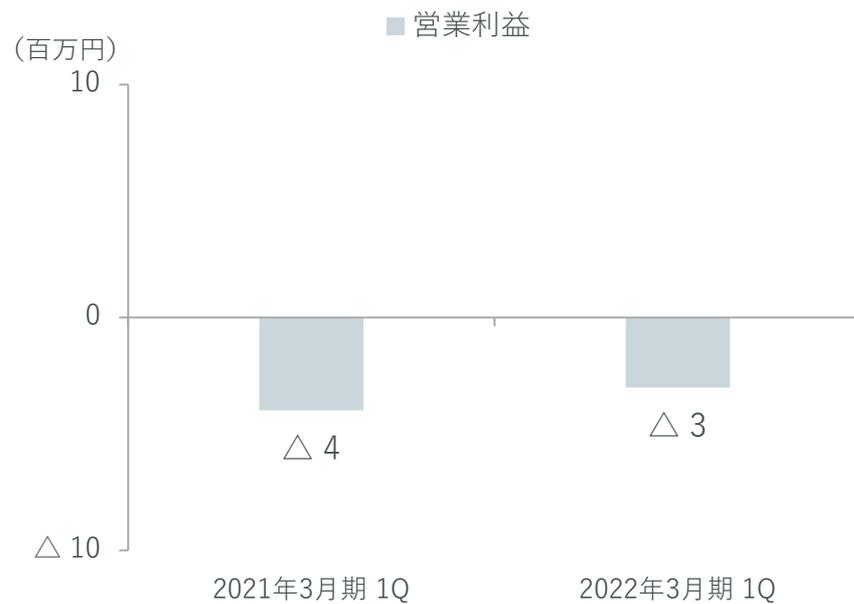
## デジタルイノベーション

セキュリティ大型案件受注に伴い  
増収となり、セグメント損失幅縮小



## その他

インドのロックダウンに伴う営業活動停止  
により、コスト削減を実施



# III. 事業&トピックス



# 知識集約型ビジネスの目指す姿



デジタルイノベーション

ソリューション事業

ソーシング事業

教育

ICT

西日本

ライフ  
サイエンス

## ソリューション事業強化

お客様課題に寄り添う  
自社ソリューション開発

## ソーシング事業深化

JTPの基盤となる事業の  
拡大、進化を図る

## 2022年3月期 注力事業

### ユーザー企業向けのクラウド移行支援サービス「Kyrios」の拡大

現20社 ⇒ 今期末70社 を目指す

### 小売業及び病院向けソリューションサービスの創出

自社サービスThird AIの派生サービス開発・拡販

### テレワーク需要に対応したセキュリティ事業の拡販

日商エレクトロニクス社とのコラボレーションによる  
セキュリティ事業の拡大



## Kyrios for テレワーク

テレワーク環境下の情報漏えい対策  
をKyriosで実現



## Kyrios for ISV

アプリケーションのクラウド化に  
必要なITインフラの構築と運用を  
ワンストップでサポート

### ベンダーのベネフィット

- 製品開発サイクルの早期化
- TCO削減
- 顧客とのリレーション強化
- 新規市場開拓
- ストックビジネスへの転換



**SaaS市場の成長**  
加速する所有から利用への流れ  
ソフトウェアの販売形態の転換

### 顧客のベネフィット

- スピーディーな導入
- 導入・運用コストの削減
- 柔軟性と拡張性
- 可用性とセキュリティ
- リスク低減

# ICT新ソリューション



## Prout

IT部門の課題を解決する  
ITインフラ自動化導入支援サービス



## Sprinta

ITディストリビューターの  
スモールスタートを実現する  
ヘルプデスクサービス





## Learning Booster

組織や個人が学習し続けるための仕組みの構築や運営に必要な様々なサービスを提供

DX人財の育成ニーズの高まりに対応したサービスへ進化



国内受験者 **10**万人突破  
GAIT 2.0 リリース



セルフラーニングサービス  
バーチャルクラスルームサービス



動画配信学習プラットフォーム  
AIによる学習データ分析



## セキュリティ事業

### Proofpoint ITM

(内部不正対策ソリューション)

- ✓ 販売パートナー契約
- ✓ パートナアワード受賞
- ✓ 大規模案件受注

### Ekran

(内部不正対策ソリューション)

- ✓ Ekran for Cloud リリース
- ✓ ジュピターテクノロジー社との協業発表

### iboss

(クラウド型Webゲートウェイ)

- ✓ 導入・運用支援サービス開始
- ✓ S B C & S社との協業



病院・介護施設向けソリューション開発

ベッドサイド業務負荷軽減ソリューション



資本業務提携によるソリューション共同開発



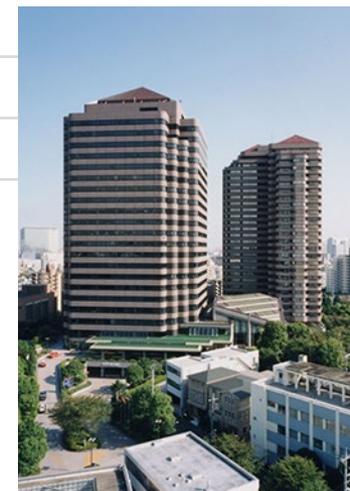
# 参考資料



# 会社概要



会社名	JTP株式会社 JTP Co.,Ltd.
本社	東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー 14階
国内拠点	北海道、栃木、東京(本社)、大阪、福岡、愛知、京都
海外拠点	インド支店
施設	<p><b>トレーニングセンター</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>御殿山トレーニングセンター (東京・品川)</li></ul> <p><b>テクニカルラボセンター</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>東京テクニカルラボセンター (東京・五反田)</li><li>関西事業所テクニカルセンター (大阪・吹田)</li></ul>
資本金	795,475,000円
設立	1987年10月31日
従業員	425名 (2021年4月1日現在)
上場市場	東京証券取引所JASDAQ (スタンダード) 証券コード：2488 (2006年6月上場)
認定パートナー	Amazon Web Services APN アドバンスドコンサルティングパートナー LINE 公式パートナー IBM Silver Business Partner SoftBank AIエコシステム・パートナー



# 沿革



1987年	10月	日本サード・パーティ株式会社 設立
1992年	4月	本社にトレーニングセンターを設置、教育事業に進出
1994年	7月	東京テクニカルセンターを設置（現：東京テクニカルラボセンター）
1994年	11月	ライフサイエンス部門で化学分析機器サービス事業に進出
2003年	3月	ライフサイエンス部門で医療機器サービス事業に進出
2006年	6月	ジャスダック証券取引所に株式を上場
2011年	8月	ライフサイエンス部門で放射線事業（放射性物質測定機器の取り扱い）を開始
2012年	1月	放射能プレミアムドックセンターを開設
2012年	10月	世界標準のITスキルアセスメントテスト「GAIT」の提供を開始
2013年	6月	デジタルマーケティング事業に進出、「Wayin（ウェイイン）」の提供を開始
2014年	11月	グローバルIT人材育成支援の一環として、全国統一学生ICTテストにGAITの提供を開始
2015年	1月	ロボティクス事業に進出、ヒューマノイドロボット「NAO」に関するサービスを開始
2016年	11月	JTPインテグレーションセンターを開設
2017年	6月	AI事業に進出、「Third AI（サードアイ）」の提供を開始
2019年	4月	インド支店を開設し、インドでの事業展開を開始
2020年	5月	日商エレクトロニクス株式会社と資本業務提携を開始
2020年	12月	アースアイズ株式会社と資本業務提携を開始
2021年	4月	社名を「JTP株式会社」に変更



# 財務データ推移



(単位：百万円)

	2011/03	2012/03	2013/03	2014/03	2015/03	2016/03	2017/03	2018/03	2019/3	2020/3	2021/3
売上高	5,156	5,164	4,597	4,708	4,661	4,743	4,634	4,748	5,472	6,245	6,310
売上原価・ 営業原価	4,702	4,500	3,885	3,955	3,902	3,918	3,731	3,746	4,408	4,998	5,197
売上総利益	453	663	711	753	759	824	902	1,001	1,063	1,246	1,112
販売費及び 一般管理費	486	551	649	672	582	587	707	749	824	775	761
営業利益	△32	111	61	81	177	237	195	251	238	470	351
経常利益	△40	102	58	89	191	234	136	258	247	483	382
親会社株主に 帰属する当期 純利益	△145	△32	1	14	90	81	3	184	154	309	267

# 直近5期指標推移



直近5期で、一定の自己資本比率を維持しながら、着実に利益を生む体質を構築。今後もこの水準を維持していく方針

## ROE（自己資本利益率）



※出所：NIR提供データを弊社にて加工

## ROA（総資産利益率）

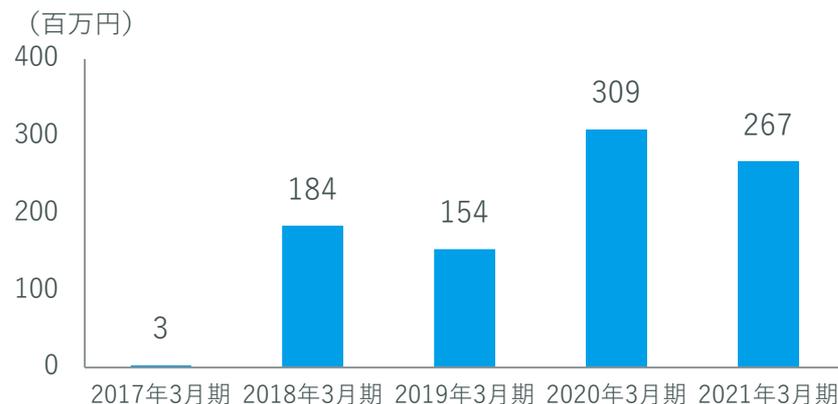


※出所：NIR提供データを弊社にて加工

## 総資産・純資産・自己資本比率 (%)



## 当期純利益

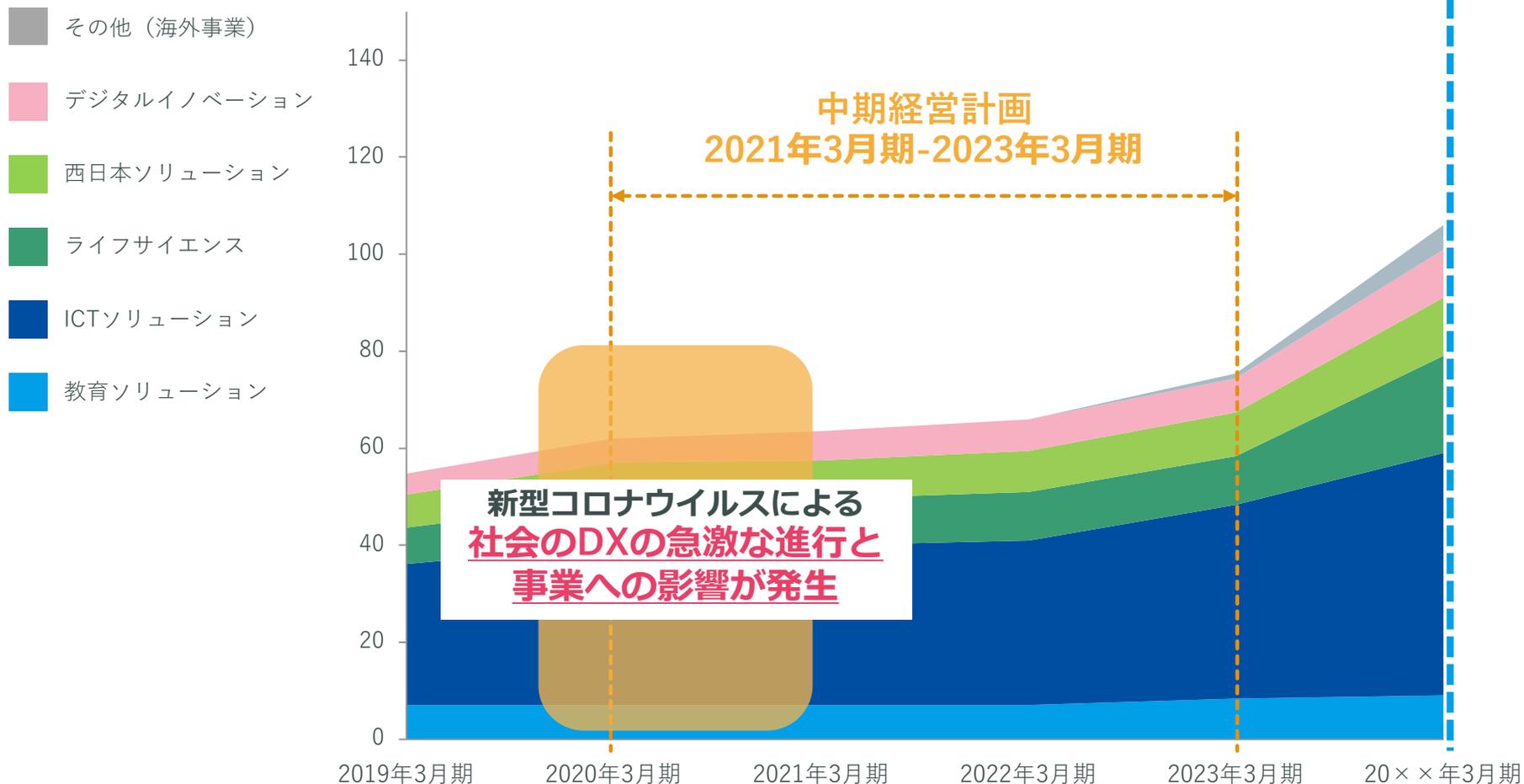


# 第1次中期経営計画の位置づけ（再掲）



長期目標

営業利益 **10** 億円



# 第1次中期経営計画の概要（再掲）



## 第1次中期経営計画（2021/3→2023/3）

### 基本方針（長期目標）

労働集約型ビジネスから

知識集約型ビジネスへの転換をはかることで

中長期で **営業利益10億円** を目指す

### 最終年度目標

売上高

67-70 億円

営業利益

5.5-6.9 億円

# 第1次中期経営計画の概要（再掲）



## 第1次中期経営計画（2021/3→2023/3）

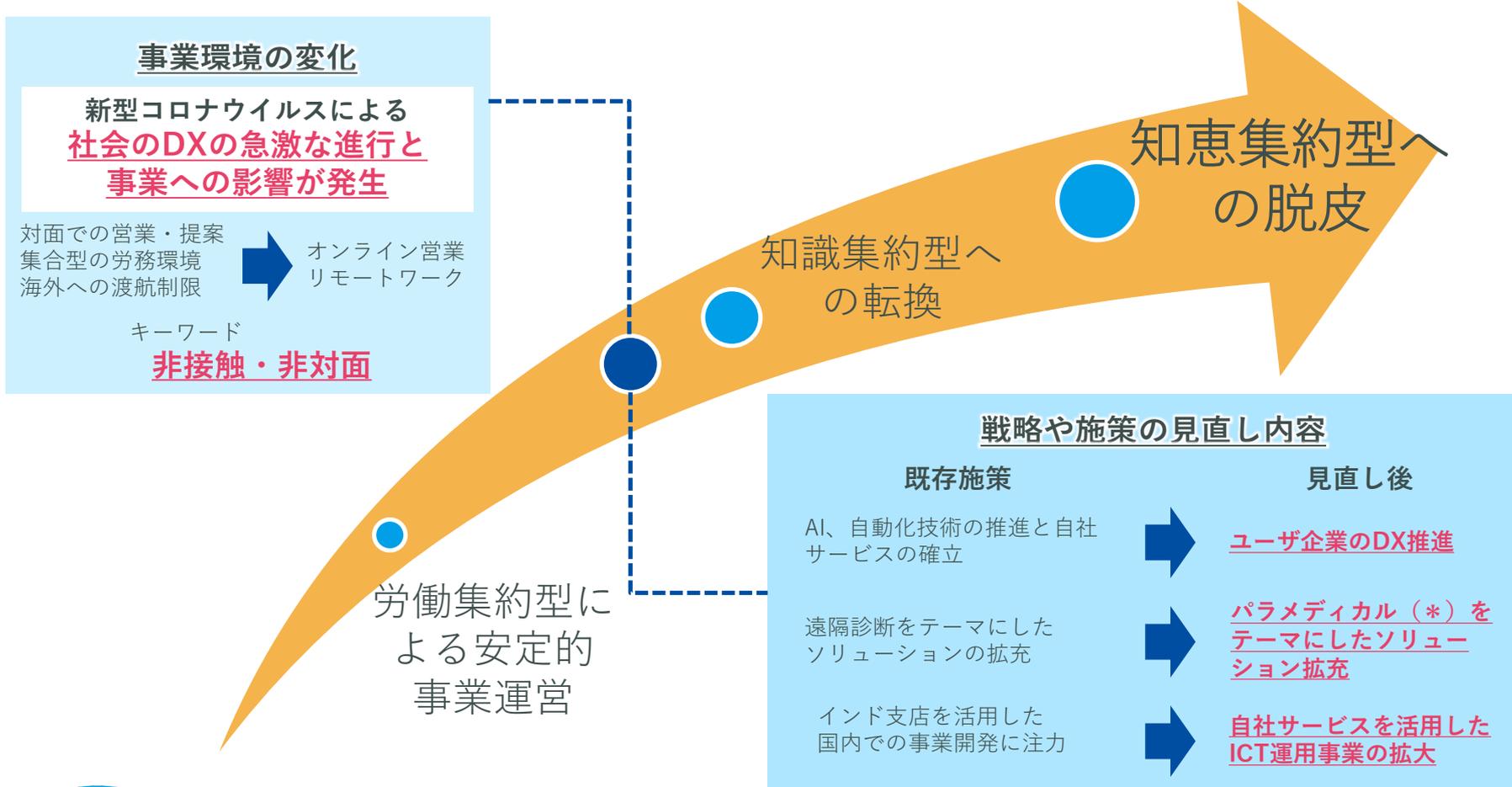
新型コロナウイルスによる  
社会のDXの急激な進行と事業への影響が発生したが  
最終年度の計画に変更はなし

(単位：百万円)	2021年3月期 実績   計画	2022年3月期 予想   計画	2023年3月期 計画
売上高	63   62~65	<b>65</b>   65~67	67~70
営業利益	3.5   4.0~4.5	<b>4.2</b>   4.6~5.0	5.5~6.9

# 事業環境の変化と戦略の見直し（一部更新）



前提となる事業環境の変化を考慮し新たなステージである  
**“知恵集約型”**のビジネス形態への飛躍を図る



# Connect to the Future

JTP 株式会社 JQ 2488

この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております  
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.